



No. 129



### 新年のご挨拶

理事長 丹野幸子

宮城高齢協1311人の組合員の皆様、新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は、障がい福祉事業、介護事業のさらなる発展に向けて「ささえあい組合」などの協力をお願いいたしましたこと、早速ご支援を賜り、誠にありがとうございました。

### 変化に果敢に挑戦

宮城高齢協は昨年20年の歴史を刻みました。高齢協は「平和でよりよい生活を求めて社会を変えていく運動」を進めるために、介護や障がい福祉、指定管理、そして生きがい・サロン活動の事業に取り組んできた運動体です。草創期の苦労は並大抵のことではありませんでした。しかし、そのフロンティアスピリットを継承しながら、事業運動を継続するのにも容易なようではありません。単に昨日と同じものを踏襲するのでなく社会情勢を睨み、変化に果敢に挑戦する努力をしなければ継続と成長は望めません。

### 困難は乗り越えよう

昨年は厳しい経営困難に直面しました。この困難を乗り越え、協同組合らしい事業の再確立を目指して、全職員の間で経営改善対策会議を開きました。日常生活の困難、生き辛さを抱える人々の課題全般に視野を広げ、総合的複合的な福祉ニーズに対応する協同組合としての役割を果たすために、互いに支え合い「誰も排除しない、せぬない」地域にするだ

め、「そして」多様性を認め合う共生社会を実現するために、現在進めている事業を盤石なものにしなければなりません。経営改善の取り組みの中で改めて見えてきたものは、進めてきた運動の尊厳であり、私たちの組織的な弱点でした。それを職員全員で受け止め、困難から逃げ出すも真剣に向き合っています。同志的な批判も重ね、自分事として運営に参加することの大切を学び始めた一年でした。更に議論を深め改革改善をすすめます。

### 尊厳を守る

話は変わりますが先日、四十年前の出来事を思い出しました。それは生協の新生委員長として壇上で報告をする場面のこと。大勢の人の前に出た途端、私は緊張であがってしまい、声も身体も震え散々な状態になりました。そんな自分が情けなく自己嫌悪に陥っていたところ、夫が「あがるのは、あなたの心にまだ純情が残っているからだ」と言い、そんなことは不名誉や失敗ではない、むしろ人間らしいやわらかな心を失うことの方が怖いと慰めてくれたの

です。今は「お天の言葉は私の重要なキーワード」になって残りました。現代は「今だけ」「金だけ」「自分だけ」という利根的な風潮があり、勇ましい強者の言が幅を効かせる中、軟弱な弱者の弁を侮られるかも知れません。が、「やむひかな感傷性や傷つきやすい心 人を思いやる優しさ」は、最も大切な「人間の尊厳」に通ずる心情だと思います。

つひつは／怒りの火薬をこぼらせしはならなく／まじりつゝの名においで／花のたぬり

これは詩人茨木のり子の「内郎がらゝの桃」として詩の一節です。「怒りの火薬」とは人間としての恥、屈辱、悲嘆の憤りであり、我慢と忍従の胸底深くにあるものだ。その限界を超えた時にこゝでも声を上げ毅然と覚悟して燃え上がらせるのが「怒りの火薬」なのではないか。内なる火薬を温らないための風は清純な魂であり人間らしい強靱な常識ではないかと思えます。その根底にあるのもまた「人々の幸せを願う福祉の心」とはなぞいしよしか。

## 年頭ごめたす

身体が悲惨な状態であっても、自立した一人の人間として尊重されて生きる。他にもたね合つてではなく社会の一員として生きる。非力でもなし崩しに暴力的に飲み込まれずする勢力には断固抵抗し負けたくない。そんな運動を起こしていきたいと決意しています。なぜなら、私たちは人々の幸せを願って立ち上げた福祉生協だからです。多様な人達こその人らしく生きる暮らしを支えたい「やゝあひ生協」だからです。

皆さまが、今年もお元氣な日々を過されねますことを祈っております。



丹野幸子理事長

# 新年の抱負

## ◆介護部会 田炉裏庵たかもり・LNNの庵ごらこ

地域密着型サービス「田炉裏庵たかもり」と「小規模多機能型居宅介護事業所いろり庵ごらこ」で、介護部会を形成し現在の運営状況の情報交換や課題を話し合ってきました。そのようなかで、解決された課題もありました。中から見ていくだけではわからない事柄も、白田の下に出すことで解決策が見えていくこともあります。お互いを尊重しながら一緒に考えようという思い、理解が深まってきたことも感じています。

さて、今までの介護部会は、組織の中では連絡会のようになかなか部会だったように思います。しかし、これからには田役会の諮問機関として答えを示す役割も出てくるのではないかと、この地域に必要なサービスは何か、それは介護保険で行うものか、別な制度を使うものか、独自で作るものか、事業として成り立つものか、事業としては成り立たないが地域で必要とされているものかについて



田炉裏庵たかもり

なので、今ある事業所のごとも話し合いながら、考えていくことは沢山あります。考える中で、高齢者や障がいのある方も含めての思いです。型にはまらない思考をフルに活用し答えを見出しついでにければと思います。年の初め、そんな壮大なことを考えています。

今年もよろしくお願ひいたします。

(介護部長 小岩 眞理子)

# ◆放課後等児童デイサービス

## 杜っこ

放課後等デイサービス杜っこは、今年も保護者や学校、地域の方々との協力しながら様々な活動、子どもたちの支援を行い、楽しく豊かな「放課後」作りを行ってきました。

毎日の事業所毎の活動(季節の行事、長期休みのお出かけや近所訪問)の他にも、保護者の方も一緒に楽しむ年一回の合同イベント(芋煮会)

には、指定管理事業泉中央老人福祉センター利用者の方の名寄せ合計71名の参加者があり、芋煮を食へながら歓談したりゲームをやったりと、にぎやかに交流する会となりました。また毎月開催の保護者茶話会には、毎回平均4、5人でしたが気軽に参加いただき、子どもとの関わり方、学校との関係、進学や就方についてなど、情報交換の場となりました。

子どもたちの将来の自立に向けて支援していく、という基本は変えず、一方でその支援の「質」や我々職員の仕事環境の「質」を、話し合いながらより良いものに変える努力をします。子どもたちも職員も笑顔で楽しむ。この「場」への実行していきたいと思っております。

(障がい福祉部長 一関邦人)

# ◆指定管理

## 泉中央老人福祉センター

泉中央老人福祉センターは高齢協が仙台市より指定管理運営を委託されてから15年目を迎えます。この間培ってきた高齢協らしいセンター運営(譲り合い、助け合い、励まし合い、言葉を交わし合うセンター)を踏まえながら新たなセンター運営を目指した一年になります。元気な高齢者が生きがいを持ち活動できる拠点となるよう職員一同力を合わせてセンターを盛り上げます。

(館長 半澤晃)

# 事業所だよ

# ◆事業所合同イベント

## (杜っこと泉中央老人福祉センター)

### 第800合同イベント芋煮会

秋晴れに恵まれ10月21日(日)、泉中央老人福祉センターにて第800合同イベントが行われました。元々は杜っこのお誕生会として開催されていたイベントですが、2016年よりの老人福祉センターのご協力を頂き、地域の方々との交流を目的の一つとして現在に至っています。

利用居参加家族は14組計37名、老人福祉センター参加者9名、職員25名(合計71名)大勢の参加で大いに盛り上がりました。

開会式後、老人福祉センターで活躍するマジック愛好会によるマジックショーで幕が開きました。華麗な手びねりに子ども達の目も釘付けとなり、会場は歓声と拍手に沸きました。シルクハットのマジシャンに声

をかけられた児童は、ドキドキしながらステーション上がり、マジックのお手伝いに挑戦し、とても嬉しそうなお表情を見せてくれました。次に赤組白組に分かれ玉入れ大(八乙女杜っこ担当)が行われました。



玉入れ大会！何個入ったかな…♪

児童は勿論、保護者や老人福祉センター参加者の方々も童心に返って楽しむ姿が見られ、ホール全体が歓声

に包まれました。

ピンゴゲーム(寺岡杜つこ担当)では、カードに動物のシールを貼り、大きな動物のパネルを表示されるたびに「やったー」と喜ぶ声や、「えー〇〇引いてえ」とスタッフにお願ひする等終始和やかに時間が流れて行きました。



お楽しみ ピンゴゲーム

ピンゴゲームが終了するまで待たし待たした芋煮会♪(高森杜つこ担当)。心を込めて作った芋煮は、とても美味しいと好評で参加者から笑みがこぼれました。一人で何杯もおかわりする児童もおり、親御さんも「杜つこだと食べるんだねえ」と驚いていました。また、普段なかなか杜つ

この子ども達と接する機会が少ない丹野理事長や本部の方々にもゲームや芋煮のお手伝いに回って頂き、交流を深めることが出来ました。

今年は全職員で取り組み、参加されるご家族をもてなし楽しんで頂こうと気持ちを一つに取り組みました。果たしてどう伝わったかは分かりませんが、終始参加して下さった皆さんの笑顔と笑い声が温かく感じました。

今後子ども達ご家族の為に何が出来るか、数字にならない、形にならない大切なものを見落とすことのないよう、取り組んでいきたいと考えています。

今年新しい試みで取り組んでまいりましたが、杜つこ職員を始め高齢協の皆さんの協力があつて初めて、イベントを無事終えることが出来たと感謝しております。本当にありがとうございました。

(合同イベント芋煮会実行委員

高見雅子)

## 〇囲炉裏庵たかもり

### (地域密着型サービス)

元来「囲炉裏庵たかもり」のイメージは宮城高齢協での「地域福祉協力者ネットワークの中核」ですが、その高齢者サロンの生い立ちから高森地区以外の居宅支援事業所や地域包括支援センターなどからも評価を得て来ておりました。今年を省みれば、年度初めの管理者交代を機に、「囲炉裏庵たかもり」に潜む「医療・福祉の専門職支配」下にあるような介護保険事業の一面を見直して将来を計る時期に来たのでは、という思いです。

かつて2月現在の「囲炉裏庵たかもり」の利用者数は21名で半数は90歳以上、しかも95歳以上の方は3名いらっしゃいます。ケアプランの優先課題で最も多いのは「他者との交流」「多世代との交流」で次に転倒防止のための機能訓練。「高齢ならではのケアの難しさや職員不足による重労働を感じ入る日々ですが、その中でも利用者のご家族が所属するフラダンスの「ピカケ」の皆さんの活動参加は、常連のボランティア

さんに加え大きな力になって下さっています。また、私たちは機能訓練を強化すべく「クノンボール体操」を軽体操に組み入れたり、地域密着型通所介護計画作成のプロセスを形成すべく「紙上カンファレンス」を实践中です。

最近では、要支援の利用者で「囲炉裏庵たかもり」への就労を希望され、相談を申し入れなされた方がいらっしゃいます。実現の可否は経過を見なくてはなりません。が、「囲炉裏庵たかもり」の未来への展開に放つ明るい光になればいいと思います。

(生活相談員 小野寺清)



←機能訓練の目的での「クノンボール体操」

フラダンス「ピカケ」の皆さんによるボランティア活動の様子。衣装と踊りにみなさんうっとりしていました。



## その参 職責

（小規模多機能型居宅介護事業所）

～大事な宝物が少しずつ

増えています～

## その参 利用者さん

4月は60名スタートでしたが12月は15名になりました。人生経験の豊かなみなさんはそれぞれに自分の得意分野を小出しにしながら「じぶんの生活」に彩りを添えてくれています。お付添いサービスは職員さんの宝物です。

## その参 ボランティアさん

毎週月曜日に編み物を教えに来てくれる先生、土曜日に傾聴や将棋指しに来てくれる組合員のAさん、老人福祉センターで磨いた腕を定期的に披露してくれるミック愛好会のみなさん、月1回エスデで至福の時間を体験させてくれるHさん、読み聞かせのみなさん、タオルを届けてくれる方、外でかけると必ず声がけしてくれる近所のZさん、いつもあしがうかがいます。利用者さん、職員共々来て頂けるのをいつも楽しみにしています。

## その参 職員

入れ替わりがあつたりしましたが、現在16名の24時間365日奮闘中！

働く時間も様々だけどチームワークを大切にケアを目指します。

（看護師 長尾智美）

## ○黒松杜こ

～「おかえり黒石さん」～



黒松杜こで長い間ボランティアをしていて、都合で休んでいた黒石さんが久しぶりに遊びに来てくれました。子ども達と一緒に準備をして、「黒石さんを迎む会」を開催。久しぶりに会えて、ちよつと興奮気味にはしゃぐ子供達の姿が良かったです。中でもいつもは「居たらく君は、会つたの黒石さんに抱きつき、甘い二面を見せていました。

黒石さんごみんなで一緒に風船バレーで盛り上がりたり、おやつ作りを楽しんでいるのが出来ました。



おかえりなさい！

最後に、K君が代表して手作りブレスレットとサイン入りカードを黒石さんにプレゼントすると、黒石さんからありがとつ心の温まる言葉をもらい、子供達も喜び、再会を約束して、穏やかな時間を終えることができました。

（管理者 高見雅子）

## ○高森杜こ

～「曜日対抗ゲーム」～

天候や気温に左右されるこが増える時期…1週間ごとに違うゲームを考え、4週連続、曜日毎に得点を競う室内での遊びとして「曜日対抗

ゲーム」を考案・実施しました。内容は、風船フリー・「ルupaター写真・じゃんけん・お玉を使ってボールを運ぶ、通称おつたまゲーム」笑。どのゲームも盛り上がりを見せ、利用児同士でお互いのプレイを称賛し合つ様子や、トップの曜日の得点を超えようと「この方が早くいいかもー」「確かにーえねでやってみようー」等、一緒に作戦を考えながら参加をする児童の姿が見られ、利用児同士での会話が長く飛び交つた、有意義な時間となりました。今後も継続して、様々な活動に取り組んでいきたい、利用児の笑顔に繋がってきたいと思っています。

（管理者 一瓶桃香）



盛り上がります♪

## 〇八乙女社(こ)

### 季節の行事

#### ①年賀状作り

毛糸でイノシシを作りました。

家族を思い手紙を書いたり、シールを貼ったり、それぞれにアイデアを出し、作り上げました。一人一人作業に対する集中力、きれいに書くという意識が様々で、声かけなど作業に向き合える環境作りの心がけました。うまく書けなくても一生懸命頑張りました。



イノシシ年賀状！  
頑張ったね♪

#### ②大掃除

一年間お世話になったオモチヤやお部屋を感謝の気持ちできれいにし、ふっ、と呼びかけました。子どもたちは呼びかけに添えて黙々とオモチヤを拭いてくれました。

掃除の最後「床拭き競争」を行いました。雑巾がけて速さを競うものですが、みんな楽しんでながらできました。

(管理者 二関邦人)

## 〇寺岡社(こ)

### 避難訓練

火災、地震を想定し、職員役割り決めて実施しました。火災想定では、非常口から庭への避難。介助を要したので職員の動きを確認しました。地震想定では、一日庭に移動し、指定避難所である寺岡二丁目公園に避難しました。過去の訓練を見直してきたので職員も状況に応じた行動が出来ていました。訓練では、あらかじめ役割を決めることで、災害時に必要な行動や全体の動きが理解できまします。今後も児童への精神面の負担を考慮し、様々な状況を想定した訓練を行います。

(管理者 蛇口実華)

## 〇泉中央老人福祉センター

### (仙台市指定管理施設)

### 組員秋のついで

落ち葉たく煙も白く、冬の気配をそこはかたなく感じる11月29日、第一回目の「組員のための秋の集い」が近隣の仙台市泉社会福祉センターで開催されました。初めてのついでにも関わらず、11名のご参加をいただきました。



歌って、ゲームで  
一緒に学んで...  
充実のひと時を共有  
できました！

りんごの皮むき遊びで始まり、丹野理事長より「高齢者生活協同組合って何？」をわかり易く説明いただき

「むきえあい組合債」の募集や「女川原発再稼働の是非を問う署名」への協力を呼びかけました。その後、宮城テレビ「O-Hーバンです」でお馴染みの料理研究家・千葉しずかさんと一緒に、簡単な菓子作りをして、みなさんでお茶を飲みながら、わいわいとおしゃべり交流を楽しみました。

(事務員 渡邊せつ子)

### 【参加ください】

センターでは左記「出前教室」への参加者を募集しています。体験参加は無料、ご希望の方は泉中央老人福祉センターまでお電話ください。

①「黒松ヨガ&ウォーク教室」(参加費あり)

ヨガとウォーキングで健康の増進、日常に潤いのある生活提案など参加者相互の交流会。

②「将監元氣サロン」(参加費あり)  
参加者同士、元気になるお茶会、健康体操、歌など毎回内容を添えます。

③「野菜を作ろう」(無料・実沢の畑)  
一緒に野菜を作りますが、毎月2回畑に行きます。参加できる時でOK！ 美味しい野菜作り、収穫の喜びを分かち合いますよう。

(老人福祉センター事務所)

## 〇名取地域センター

### 〜名取地域センター祭〜

1月の夏 記録的な暑さも記憶に生々しく、秋の話れもゆっくらの感じられ暖かさを感ずる12月を迎える中で、名取地区の遠藤フニ工高齡協働間でも毎年恒例となっている「名取地域センター祭」が12月8日、9日の二日間行われました。高齢協の仲間と地域のみなさんと交流会、新鮮でおいしい産直野菜の販売、もち米、赤飯、漬物などが所狭しと並び、朝早くから多くの組合員や地域のみなさんが訪れ賑やかなセンター祭となりました。



新鮮野菜がいっぱい！みなさん待っていました♪

11日の日、おしゃべり訪れた冬の寒さが身に沁みましたが冬至がぼちぼちの振る舞いと何れも名取地域センターのみなさんの暖かなおもてなしが寒さを凍えた心にとっても暖かな灯を灯すことができました。

「安定した事業運営に向け本部が役割をしっかりと果たしてほしい」「組合員の声をもっと聞かしてほしい」「11日「働く職員への待遇を少しでも上げて働かざる職場」」「励ましの声をたくさんいただきたまに気がいっぱい帰路に着きました。



朝から多くの方で賑わいます！

名取は宮城高齢協設立時から支えていただいた多くの仲間がおり、この

日も会場となった遠藤宅でホリティアとして「センター祭」を支えておりました。長年の活動で地域に溶け込んだ「センター祭」を楽しみにしている方も多く、みなさんの様子を見て「地域の拠り所」のあるべき姿を見ることができました。仙台の名取で相互の交流を図りながら組合員活動を盛り上げていきたいと思います。

(編集部取材)

## 〇泉西部福祉事業所

### 〜活動報告〜

人との触れ合いを大切に、生きがい探しなど組合員の力を引出し楽しめる場所を作りたいと思っています。皆様の協力をお願い致します。

12月23日は第33回地域懇談会を開催しました。16名の参加者で楽しい忘年会！飲み物はもちろん、頂いた手作りの野菜を用い、3種類の鍋(だまご鍋・白菜鍋・おでん)手作りの菓子、サラダ、漬物などを囲み「一年を振り返り、この地に住んでよかったこと」など自己紹介を兼ねながらお話をしました。

終活にやっておきたいこと・樹木葬の現地を訪ねて・男の料理(餃子)・氷点前(おひらだて)・健康相談・新そばを食べる会・認知症学習会・吉岡宿本陣案内所巡り・忘年会と思いでをたくさん作りました。この度、

みなさまのご参加をお待ちいたしております。

(理事 永野まり子)

囲炉裏庵たかもりでは月曜日が自由に利用できることになりました。大切な施設なので、地域の方が自由に出入りできる癒しのたまの場として活動予定。おしゃべりサロン・映画会・カフェ・麻雀・風食会・おけいこなど。おしゃべりは元気の源、